

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成28年1月】

■調査概要（データ対象期間：平成28年1月1日～1月31日）

- 調査期間：平成28年1月28日～2月19日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業25企業、製造業24企業、卸売業14企業、小売業32企業  
飲食業16企業、サービス39企業（運輸、不動産仲介業を含む）  
<合計150企業>
- 調査項目：1月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価  
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

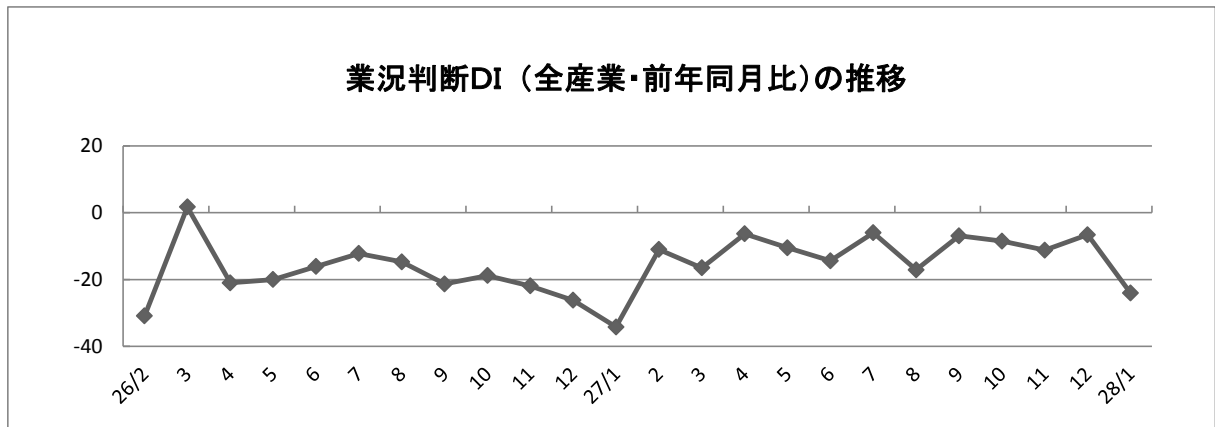
### 1. 業況判断

- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲6.6）よりマイナス幅が17.4ポイント拡大し、▲24.0となった。業種別では、飲食業はマイナス幅が縮小した。製造業は0からマイナスになり、サービス業はプラスからマイナスに転じた。建設業、卸売業、小売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲14.5）よりマイナス幅が16.9ポイント拡大し、▲31.4となった。業種別では、サービス業、飲食業はプラスからマイナスに転じた。建設業はマイナス幅が縮小し、卸売業、製造業、小売業はマイナス幅が拡大した。

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	10.0 (14.5)	56.0 (64.4)	34.0 (21.1)	▲24.0 (▲6.6)	9.3 (15.8)	50.0 (53.9)	40.7 (30.3)	▲31.4 (▲14.5)
建設業	8.0 (4.0)	56.0 (80.0)	36.0 (16.0)	▲28.0 (▲12.0)	4.0 (0.0)	60.0 (60.0)	36.0 (40.0)	▲32.0 (▲40.0)
製造業	12.5 (15.8)	58.3 (68.4)	29.2 (15.8)	▲16.7 (0.0)	16.7 (15.8)	41.6 (63.1)	41.7 (21.1)	▲25.0 (▲5.3)
卸売業	7.1 (7.1)	50.0 (71.5)	42.9 (21.4)	▲35.8 (▲14.3)	7.1 (7.1)	28.6 (42.9)	64.3 (50.0)	▲57.2 (▲42.9)
小売業	6.3 (18.8)	46.8 (49.9)	46.9 (31.3)	▲40.6 (▲12.5)	3.1 (21.9)	50.0 (34.3)	46.9 (43.8)	▲43.8 (▲21.9)
飲食業	6.3 (6.3)	81.2 (68.7)	12.5 (25.0)	▲6.2 (▲18.7)	6.3 (25.0)	68.7 (56.2)	25.0 (18.8)	▲18.7 (6.2)
サービス業	15.4 (21.7)	53.8 (60.9)	30.8 (17.4)	▲15.4 (4.3)	15.4 (19.6)	48.7 (63.0)	35.9 (17.4)	▲20.5 (2.2)

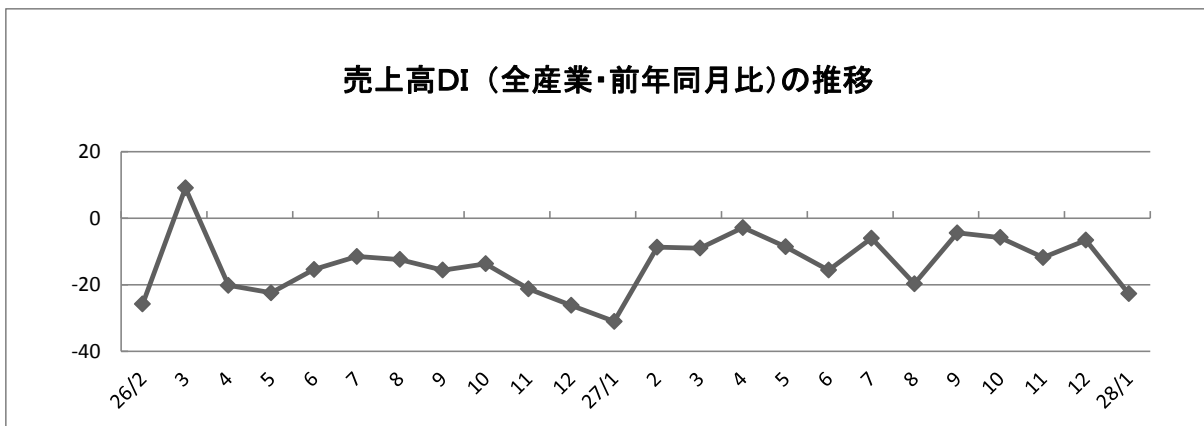
( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲6.6）よりマイナス幅が16.1ポイント拡大し、▲22.7となった。業種別に見ると、飲食業は横ばいで、製造業は0からマイナスとなった。サービス業はプラスからマイナスに転じ、卸売業、建設業、小売業はマイナス幅が拡大した。

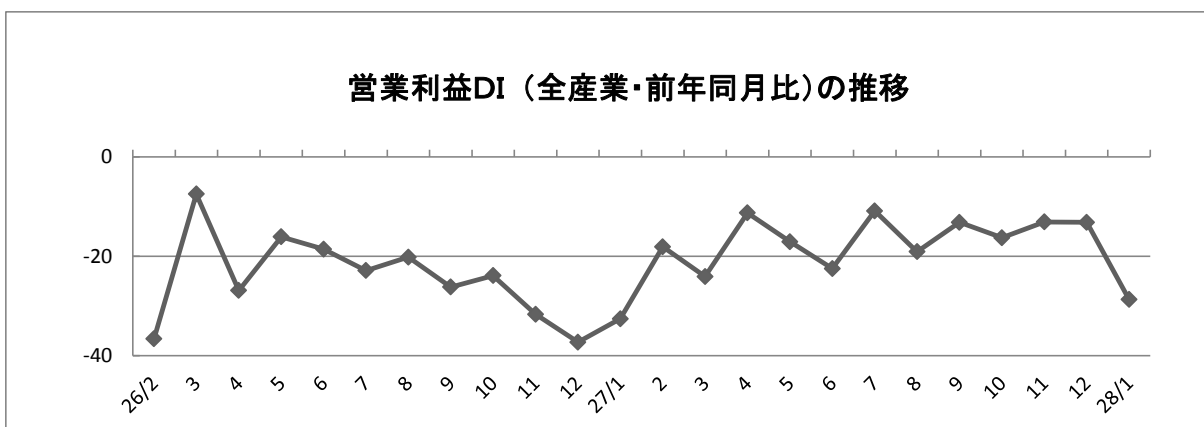


**【対前年同月比売上高業種別DIの推移】**

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
全 体	▲31.0	▲8.7	▲9.0	▲2.8	▲8.6	▲15.6	▲6.0	▲19.7	▲4.4	▲5.8	▲11.8	▲6.6	▲22.7
建設業	▲37.5	▲31.3	▲6.2	▲15.0	▲16.0	▲12.5	▲30.4	▲40.0	▲25.0	▲4.0	▲20.9	▲16.0	▲24.0
製造業	▲30.0	▲13.0	▲25.0	5.0	0.0	▲13.7	15.0	0.0	8.3	▲40.0	35.0	0.0	▲20.8
卸売業	▲25.0	▲6.3	▲26.7	0.0	▲25.0	▲18.8	▲11.7	▲11.8	5.9	▲6.6	▲18.7	▲21.5	▲28.6
小売業	▲48.3	▲11.5	▲16.6	▲21.2	▲20.0	▲27.0	▲18.0	▲25.0	▲15.1	▲18.1	▲25.0	▲12.5	▲43.7
飲食業	▲22.2	27.3	8.3	▲8.4	6.7	▲7.1	▲12.5	▲11.1	0.0	7.2	▲28.6	▲6.2	▲6.2
サービス業	▲19.5	▲5.7	5.0	14.7	0.0	▲10.6	10.0	▲20.4	2.2	13.1	▲9.5	4.3	▲10.3

## 3. 営業利益DI（前年同月比）

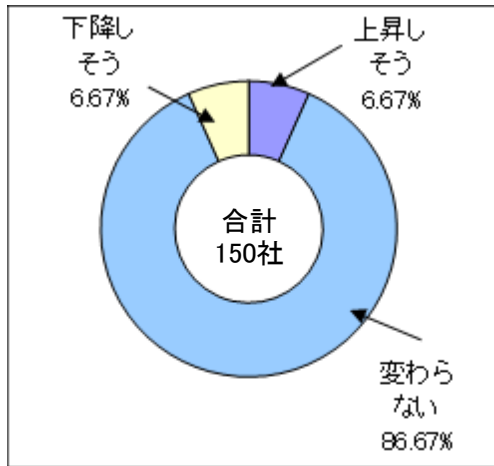
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲13.2）よりマイナス幅が15.5ポイント拡大し、▲28.7となった。業種別に見ると、飲食業、建設業、サービス業、卸売業、製造業、小売業はマイナス幅が拡大した。



**【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】**

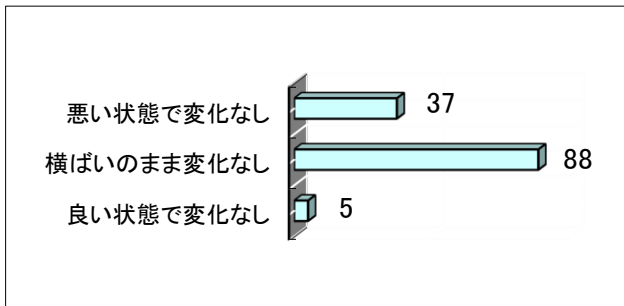
	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
全 体	▲32.6	▲18.1	▲24.1	▲11.3	▲17.1	▲22.5	▲10.9	▲19.1	▲13.2	▲16.3	▲13.1	▲13.2	▲28.7
建設業	▲37.5	▲31.3	▲25.0	▲20.0	▲32.0	▲33.3	▲39.2	▲32.0	▲33.3	▲36.0	▲20.8	▲32.0	▲40.0
製造業	▲35.0	▲26.1	▲45.0	▲10.0	▲30.4	▲31.9	15.0	▲17.4	0.0	▲30.0	20.0	▲5.3	▲25.0
卸売業	▲37.5	▲31.2	▲40.0	▲6.2	▲18.7	▲6.3	5.8	▲11.8	17.6	0.0	0.0	▲14.3	▲28.6
小売業	▲34.5	▲19.3	▲30.0	▲39.4	▲17.1	▲29.7	▲20.5	▲19.4	▲24.2	▲42.4	▲30.6	▲9.4	▲34.3
飲食業	▲33.3	27.3	0.0	▲16.7	▲6.7	▲7.1	▲31.2	▲11.1	▲11.8	0.0	▲28.6	▲25.0	▲31.2
サービス業	▲25.0	▲14.3	▲10.0	14.6	▲6.1	▲17.1	0.0	▲18.1	▲13.7	8.7	▲9.5	▲4.3	▲17.9

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



○平成28年2月～平成28年4月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.75ポイント増加し6.67%、「下降しそう」が6.49ポイント減少し6.67%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲12.0)、製造業(4.2)、卸売業(7.1)、小売業(▲3.1)、飲食業(6.2)、サービス業(2.6)であった。

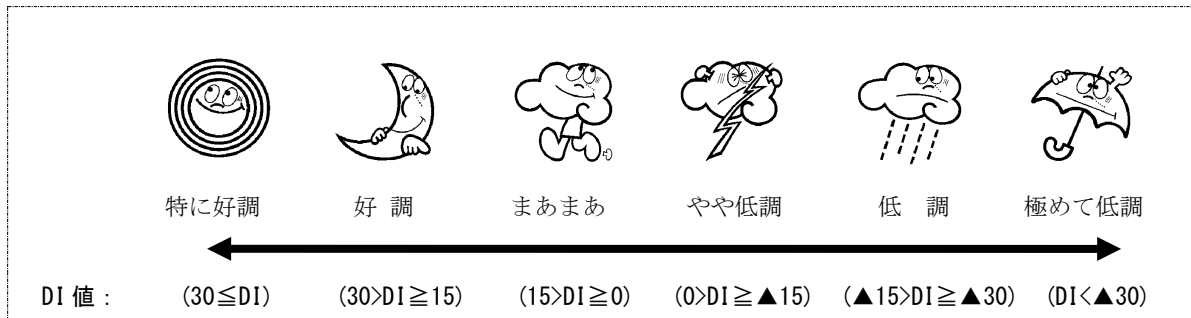
➡「上昇しそう」では、「季節的要因のため」「受注の案件があるため」(建設業)、「新酒が出回り、日本酒への関心が高まっているため」「春の需要期を迎えるため」(製造業)、「春の観光シーズンのため」(飲食業)、「3月の車検台数の増加とディーラーが決算月なので新車販売の増加が見込まれるため」「業界の2月、3月はサイクル的に売り上げが上昇するため」「新入社員等の研修会の需要があるため」(サービス業)といった声が寄せられた。



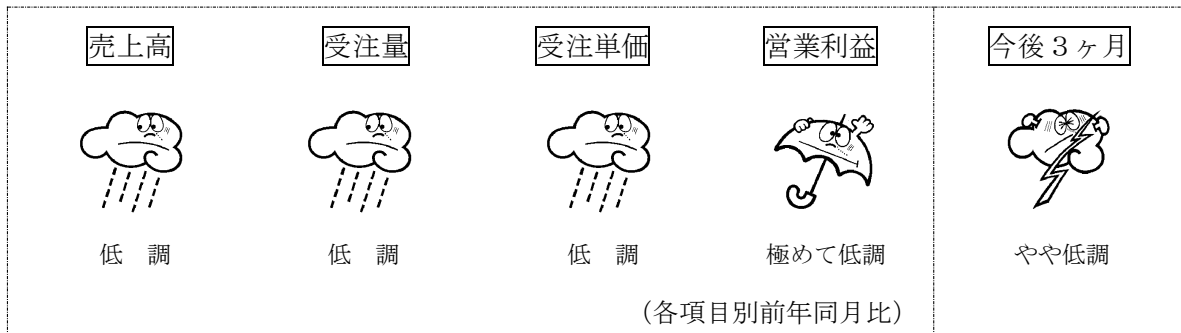
➡「下降しそう」では、「5月決算迄5ヶ月間で上半期の挽回は無理のため」「問い合わせはあるが契約に結びつかないため」「年度末に終了する工事が多いため」(建設業)、「仕事が減少傾向のため」(製造業)、「得意先の廃業倒産があるため」(小売業)、「スキーシーズンが早く終わる雰囲気を感じるため」「証明写真のお客さんが減少するため」(サービス業)といった声が寄せられた。

# 業種別景況

## <D I 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

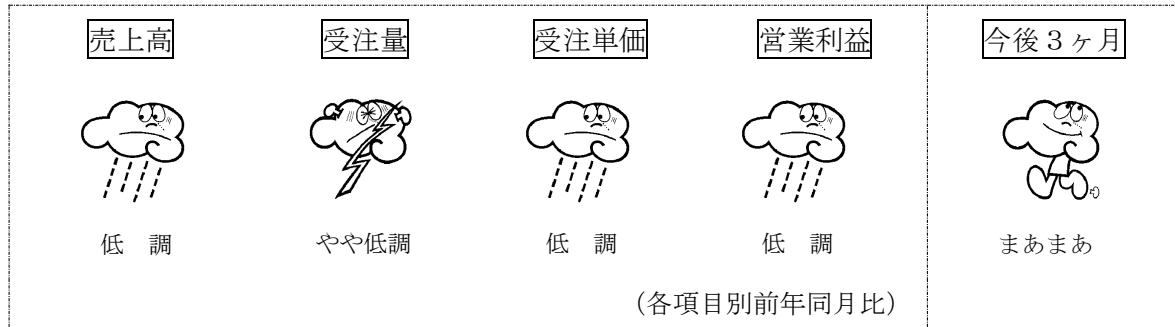
	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
売上高	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 6.2	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 30.4	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 20.9	▲ 16.0	▲ 24.0
受注量	▲ 43.8	▲ 31.2	▲ 18.8	▲ 15.0	▲ 12.0	▲ 20.8	▲ 34.8	▲ 36.0	▲ 54.2	▲ 16.0	▲ 29.2	▲ 28.0	▲ 28.0
受注単価	▲ 18.7	▲ 6.3	▲ 6.2	0.0	8.0	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 16.0	▲ 12.5	▲ 20.0	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 20.0
営業利益	▲ 37.5	▲ 31.3	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 39.2	▲ 32.0	▲ 33.3	▲ 36.0	▲ 20.8	▲ 32.0	▲ 40.0
見通し	▲ 6.3	6.2	6.3	▲ 5.0	4.0	▲ 8.3	8.7	0.0	▲ 12.5	▲ 8.0	▲ 16.7	▲ 4.0	▲ 12.0

## <経営者の目・見方・etc>

- 電気工事      ・今年になり仕事の受注が全然ない。今後、どうなるのか心配である。
- 土木・水道施設      ・公共工事設計労務単価の上昇がある。
- 総合建設      ・国・県の公共工事の2月補正予算が、期待外れになる。4月当初から県が発注する舗装工事の発注予定があるので助かる部分もあるが、発注量は少ない。
- 鉄工      ・昨年秋ごろまでの超繁忙状況が落ち着いている。今後、2月以降は受注済みの案件が目白押しである。ただ、労務費等も上昇しているので、利益等を得るためには生産計画等よく考えながら進めていかなければいけないと考えている。また、首都圏向けは好調な受注であるが、長野県内に目を向けると非常に停滞している感じがする。地方と中央の格差はさらに大きくなっていくと感じる。
- 管工事      ・都会は一段落した感じであるが、地方は夏場から繁忙状態になる気配がある。
- 土木工事      ・全般的に運送業はいつも少ない時期だが、昨年よりさらに少ない。
- 建築工事      ・日経平均株価が暴落して、先行きが不透明である。

- ・不足していた建材が、余ってきた。
- ・新年度の公共工事に期待している。

## 2. 製造業



【項目別DIの推移】

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
売上高	▲ 30.0	▲ 13.0	▲ 25.0	5.0	0.0	▲ 13.7	15.0	0.0	8.3	▲ 40.0	35.0	0.0	▲ 20.8
受注量	▲ 35.0	▲ 17.4	▲ 30.0	▲ 5.0	▲ 4.4	▲ 27.3	▲ 5.0	▲ 17.4	4.2	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 12.5
受注単価	▲ 20.0	▲ 21.7	▲ 30.0	▲ 25.0	▲ 17.4	▲ 31.8	▲ 20.0	▲ 17.4	▲ 8.4	▲ 25.0	▲ 10.0	▲ 21.1	▲ 25.0
営業利益	▲ 35.0	▲ 26.1	▲ 45.0	▲ 10.0	▲ 30.4	▲ 31.9	15.0	▲ 17.4	0.0	▲ 30.0	20.0	▲ 5.3	▲ 25.0
見通し	▲ 5.0	▲ 4.4	▲ 20.0	5.0	8.7	0.0	▲ 5.0	▲ 17.4	▲ 4.2	▲ 10.0	5.0	▲ 15.8	4.2

### <経営者の目・見方・e t c >

豆腐	・冬らしい気候になったことで、売り上げが増加した。
菓子	・降雪の為、スキー場が滑走可能になってお客様が増えたが、おみやげ物などの購入金額が低額になっている。 ・昨年12月、今年1月と消費低迷を感じる。石油価格の下落は、菓子関連の原材料価格の低下に全く反映してこない。
酒類	・雪や雨氷の影響で多少観光の面で被害があったと思われるが、極寒のこの時期でも外国人観光客は相変わらず目につく。NHK大河ドラマの影響で上田方面は賑わっていると聞くが、お土産用の清酒の売れ行きが良くない。小澤征爾氏のグラミー賞受賞は松本の観光におおいにプラスになると感じる。
金属塗装	・中国景気の減速がいつまで続くのか心配である。
小型情報機器組立	・中国経済の動きで、先行きが不透明だと感じる。

### 3. 卸売業



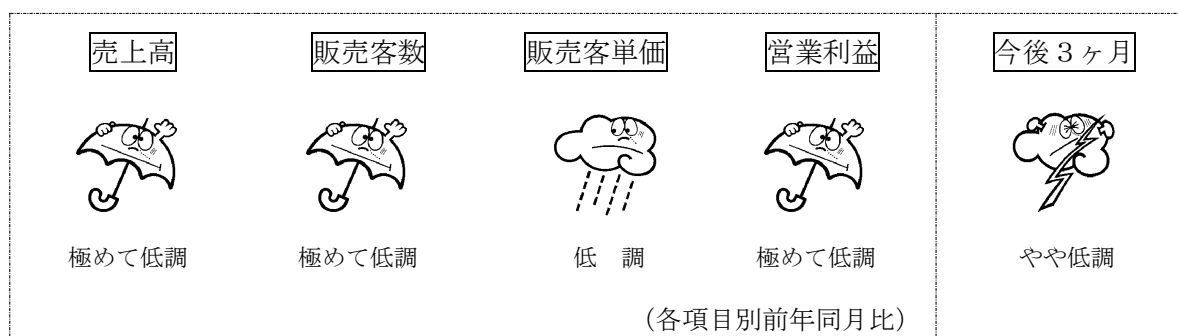
【項目別DIの推移】

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
売上高	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 26.7	0.0	▲ 25.0	▲ 18.8	▲ 11.7	▲ 11.8	5.9	▲ 6.6	▲ 18.7	▲ 21.5	▲ 28.6
販売客数	▲ 18.7	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 23.5	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 13.3	▲ 25.0	▲ 28.6	▲ 35.7
販売客単価	▲ 18.7	▲ 12.5	0.0	18.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 6.6	▲ 25.0	▲ 21.5	▲ 42.9
営業利益	▲ 37.5	▲ 31.2	▲ 40.0	▲ 6.2	▲ 18.7	▲ 6.3	5.8	▲ 11.8	17.6	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6
見通し	0.0	0.0	▲ 20.0	6.3	0.0	▲ 6.3	0.0	11.8	5.9	6.7	▲ 12.5	▲ 21.4	7.1

#### <経営者の目・見方・e t c >

- |      |   |
|------|---|
| 機械工具 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月は寒いこともあり設備工事が少ない。3月に向けて設備工事予定が入ってくるが、大きい物件の発注が無い。一方、見積もり物件が多いので、決定すると忙しくなる。しかし、景気は先行き不透明である。</li> </ul>   |
| 青果   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州地方での降雪等天候被害や急な寒さにより出荷の減少がみられた。また、今後の出荷にも影響が見られた。全体的には販売苦戦の月となった。</li> </ul>                               |
| 金属製品 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先月から大きな変化はなく、工期の遅れや材料単価の上昇により、春以降の物件まで仕事は少ない状況である。</li> </ul>   |
| 土産品  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・土産品業界全体では、昔と違い冬季に稼ぐことが厳しくなった。今後、どの様に経営していくのか考える必要性がある。1月前半は雪不足暖冬の為、かなり苦戦だったが、後半は少しではあるが回復傾向にあった。</li> </ul> |

## 4. 小売業



### 【項目別DIの推移】

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
売上高	▲ 48.3	▲ 11.5	▲ 16.6	▲ 21.2	▲ 20.0	▲ 27.0	▲ 18.0	▲ 25.0	▲ 15.1	▲ 18.1	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 43.7
販売客数	▲ 41.4	▲ 30.8	▲ 40.0	▲ 12.1	▲ 5.7	▲ 24.3	▲ 10.3	▲ 30.6	▲ 27.2	▲ 18.2	▲ 11.2	▲ 9.4	▲ 43.7
販売客単価	▲ 31.1	3.8	▲ 13.3	▲ 6.0	▲ 2.9	▲ 16.2	▲ 12.8	▲ 22.2	▲ 12.1	▲ 27.2	▲ 22.2	▲ 15.7	▲ 15.7
営業利益	▲ 34.5	▲ 19.3	▲ 30.0	▲ 39.4	▲ 17.1	▲ 29.7	▲ 20.5	▲ 19.4	▲ 24.2	▲ 42.4	▲ 30.6	▲ 9.4	▲ 34.3
見通し	6.9	3.9	6.7	6.1	2.9	2.7	▲ 7.7	2.7	0.0	▲ 15.2	▲ 2.8	0.0	▲ 3.1

### <経営者の目・見方・etc>

パン

・1月の売上は毎年の事だが、前半までは良い経営内容だった。後半は雪の影響で経営内容は良くなかった。

薬局

・1月の雪の日、寒い日は人が動かないので、売り上げが伸びない。但し、商品の宅配希望のお客様の要望が増えてきた。  
・雪が降ると客数が激減する。

住宅機器

・今年に入り、受注の動きが急に止まった。

ショッピングセンター

・1月は天候も比較的順調で、売上、客数ともに前年を上回った。セールに対する反応は年々短期集中化する傾向なので、年始～成人の日ではほぼ終わり、逆に春物を購入するお客様が早くなってきている。

生鮮食品

・1月前半の売上は鈍かったが、後半になってからは順調だった。雪又は寒波が続いたが、お客様が来店されると有り難いと感じる。

菓子

・1月中旬の大雪で3～4日間は開店休業状態だった。正月のあめ市のイベントの売上は比較的良かった。外国からの観光客も多く、松本市は観光経済の街だと感じる。

印章

・1月中旬以降の大雪による悪路の影響で人出が減少したので、売上減少となった。  
・正月明けは比較的暖かだったので、人の動きが良かったが、気温の低下とともに下旬は動きが止まった。三が日には松本城に上れ、また、元日に休業する大型店があったので、今までとは違う正月の人の動きだった。

味噌・しょうゆ

・2月より米の値上がりの動きがありそうだ。

書籍

・地元の出版社の廃業が決まり、業界全体の厳しさが増している。出版文化が消えるのではないかと思う。

書籍・木のおもちゃ

・中旬に降った雪の影響で売上は厳しかった。年々この時期の売上は厳しさを増して手の打ちようがない状態である。

観光物産

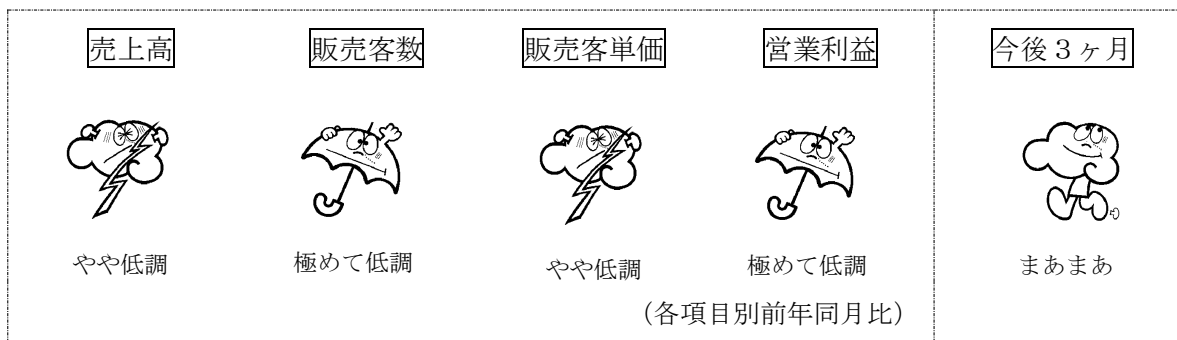
・冬期間は、団体の食事、お弁当のみ扱っているが、昨年比べて大幅な減



陶磁器

少となっている。  
 ・予報通りに暖冬気味で、あめ市過ぎまでは穏やかな天候が続き客足も伸びた。18日の降雪以降は正反対に冷え込みも厳しく、例年になく人手は減少した。最終的には前年並みだった。  
 来店客が減少している。

## 5. 飲食業



### 【項目別DIの推移】

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
売上高	▲ 22.2	27.3	8.3	▲ 8.4	6.7	▲ 7.1	▲ 12.5	▲ 11.1	0.0	7.2	▲ 28.6	▲ 6.2	▲ 6.2
販売客数	▲ 11.1	36.4	8.3	0.0	6.7	▲ 7.1	▲ 6.2	0.0	0.0	0.0	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 31.2
販売客単価	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 8.4	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 21.4	▲ 25.0	▲ 22.2	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 28.6	▲ 18.7	▲ 12.5
営業利益	▲ 33.3	27.3	0.0	▲ 16.7	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 31.2	▲ 11.1	▲ 11.8	0.0	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 31.2
見通し	0.0	36.4	16.7	16.7	▲ 6.6	14.3	12.5	▲ 22.2	5.9	0.0	▲ 7.2	▲ 25.0	6.2

### <経営者の目・見方・etc>

寿し

- ・1月の前半と後半は良かったが、中旬の売上が良くなかった。3月は選挙の月なので、売上が落ちるかもしれないと心配している。
- ・2年前の大雪ほどではないが、中旬の降雪による影響は大きかった。スキー場は昨年からの雪不足でオープンもままならず、年明けも来場者が伸び悩んでいる。天候を理由にするつもりはないが、その影響を把握した中で経営を進める必要性が年々高まってきていると感じる。
- ・平成28年の正月は非常に暖かく天気も良かったので、お客様が例年よりも多く売上増加となったが、中旬を過ぎてからは、雪が降ったり寒い日が続いたり天候が悪く、来店するお客様が少なかった。

仕出し料理

- ・何処に行っても静かな1月であった。人の動きの少ないのは寒さのせいばかりでなく、景気が良くないのではないかと感じる。

創作料理

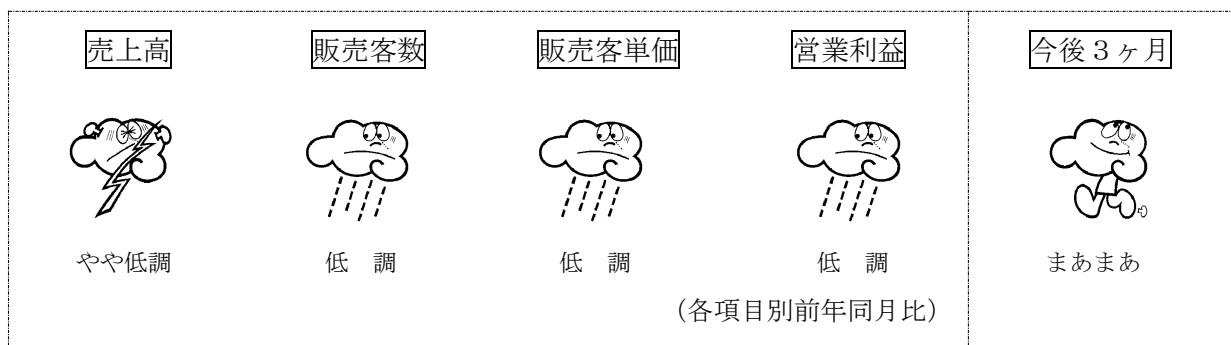
- ・客数は例年通りであったが、予約数は減少した。団体での予約はあったが、家族単位の様な少人数の利用が少ないのが気にかかる。相変わらず客単価を上げる事ができず苦しい状況である。

中華料理

- ・今年の正月三が日は人出が凄かった。正月の三が日を休業としているが、あの人出を見ると来年からは営業しようかと考える。

レストラン	・若者のアルコール離れは確かにあると感じる。食事のみのお客様が多く、売上が伸びない。
料理	・新しい年を迎えて活気付くのかと期待をしたが、客足は伸びなかった。また、予約の新年会参加費が安かったので、提供する料理と飲み物に苦勞した。
そば	・新年は4日までは例年になく盛況だった。その後、積雪の影響でお客様が減少したので売上が伸びなかった。毎年ながら桜が咲くまで静かに待つしかない。
郷土料理	・大雪の影響で、予約のキャンセルや宴席も少人数で、横ばいキープの静かな新年の始まりだった。

## 6. サービス業



### 【項目別DIの推移】

	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月
売上高	▲ 19.5	▲ 5.7	5.0	14.7	0.0	▲ 10.6	10.0	▲ 20.4	2.2	13.1	▲ 9.5	4.3	▲ 10.3
販売客数	▲ 25.0	▲ 11.4	▲ 2.5	12.2	2.1	▲ 14.9	4.0	▲ 25.0	0.0	8.7	▲ 9.5	2.1	▲ 23.1
販売客単価	▲ 11.1	▲ 11.4	▲ 2.5	4.9	0.0	▲ 4.2	▲ 2.0	▲ 18.2	6.8	8.7	▲ 4.7	4.3	▲ 23.0
営業利益	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 10.0	14.6	▲ 6.1	▲ 17.1	0.0	▲ 18.1	▲ 13.7	8.7	▲ 9.5	▲ 4.3	▲ 17.9
見通し	2.7	14.2	0.0	2.5	▲ 2.0	0.0	10.0	9.1	6.9	2.2	0.0	0.0	2.6

### <経営者の目・見方・etc>

ビル・住宅総合メンテナンス

・1月は実働日数が少なかったが、売上を落とさずに済んだ。来年度の見通しとして、地方経済は厳しいと感じる。

美容・美容

・1月下旬の大雪の影響は大きかったので、2月に期待したい。  
・大雪と寒さの為、客足の動きが悪いと感じる。1月の売上は過去最低だった。

ソフトウェア

・自社システム関連の見直しや消費税率変更に関する早期対応の相談が少しずつ多くなってきている。しかし、求められている現場レベルでの知識と経験豊富なシステムエンジニアの不足が深刻な問題である。

写真

・マイナンバー及び大学受験用の証明写真撮影で売上が増加した。

マッサージ

・求職者が多かった。

自動車整備・板金塗装

・原油価格が安いのは良い事であるが、1月中旬の雪が道路を邪魔していたので、仕事の効率がとても悪かった。早く春になってほしい。

獣医	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最近「猫」に関するニュースが多くなってきた。日本での飼育頭数は、これまで犬が1,200万頭とだったが、現在では1,000万頭と猫と同等数になっている。犬のペットブームはバブル時期から平成10年頃までだった。現況の景気が良くないので、ネコブームが起こる事を期待したい。</li> </ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年の行事や催しが各地で行われて賑わったが、輸送客数は少なく売上高は前年を割った。</li> </ul>
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊は好調だった。新年会は昨年が悪かった分、今年は順調であった。</li> </ul>
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年同期と比較すると宿泊客は少ない。アベノミクスの「3本の矢」の効果があるのかと疑問を感じる。</li> <li>・円高、株安、原油安で世界経済は不安定だったが、入込人数、営業利益、売上高良好な状況であった。2月以降は世界経済が良い方向に向いて欲しいと思う。</li> </ul>
マナー講師	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年1月、2月は低迷期である。春に向けて、内容を充実させた研修会を企画して、売上増加に結び付けたい。</li> </ul>
旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候により、売上が左右される。</li> </ul>

